



絵本学会

主催：絵本学会 後援：横浜市教育委員会

第28回絵本学会横浜大会

絵本の窓から 世界を見る



近年、絵本のテーマはあらゆる分野に広がっています。「生き方や思想」「戦争と平和」「人権・差別」「ジェンダー」「多文化共生」「老いと死」「自然と地球環境」「東日本大震災・原発事故」など、1960年代には考えられなかった社会事象が取り上げられるようになり、科学の分野でも幅広い展開が見られます。

この傾向は1970年代以降に起こった現象です。そこには二つの要因が考えられます。

一つは、画家や文章作家や編集者などの制作者が、絵本を自立した表現ジャンルとして認識し、様々なテーマを絵本で表現できると考えるようになったことによります。

二つ目は、1970年代初頭に始まる第二次ベビーブームに対応し、出版界が絵本に力を入れ、絵本の出版数自体が飛躍的に増加したことです。これにより、幼児だけでなく年齢の高い子どもを対象とした絵本が増え、テーマを広げる必要が生まれました。その中で大人の読者も引き付ける絵本が登場してきます。

美術表現と言語表現を融合した独自の絵本表現は、子どもと大人の懸け橋となる文化として現在も発展しつつあります。また、翻訳が容易であることから、言語の壁を越えた表現として、国際理解を推進する文化としても注目されています。

第28回絵本学会横浜大会では「絵本の窓から世界を見る」というテーマで、絵本の可能性について多様な視点から考えたいと思います。

第28回絵本学会大会実行委員長
松本猛

2025年 6月21日土 → 6月22日日

会場：横浜市開港記念会館

(〒231-0005 横浜市中区本町1-6)

参加費 (Peatix にて受付)

会員：1,800 円 (2日間通し)

一般：1,800 円 (1日) / 3,500 円 (2日間通し)

学生：1,000 円 (2日間通し)

※絵本学会会則による準会員 a・b を含む

第1日目
6月21日土

11:30～ 受付

12:00～ 開会式(講堂)

12:10～14:30

I 追悼特別企画 谷川俊太郎と絵本



谷川賢作氏



谷川賢作氏(左)と谷川俊太郎氏

司会・進行:野田英里(フリーアナウンサー)

ピアノ演奏とトーク:谷川賢作(音楽家)

ゲスト:林綾野(「絵本★百貨展」企画者、フリーキュレーター)

2024年11月13日に詩人の谷川俊太郎氏が逝去されました。

谷川氏と絵本の関わりは深く、広いものがあります。言葉遊び、世界を認識する手がかり、ナンセンスの楽しみ、生きることの不思議や尊さ、死の意味や戦争の原因とそれがもたらすものなど、谷川俊太郎の透徹した眼差しは、日常生活から未来やファンタジーまでのあらゆるところに及んでいます。

谷川氏と絵本の関わりは、絵本と読者、絵本と作家、絵本と編集者の関係などに影響し、絵本というメディアの可能性を拡げ、絵本の読まれ方が問い直されることになりました。

今回の企画では、谷川氏の令息であり、共に制作活動をされてきた音楽家の谷川賢作氏をお招きし、日頃の様子などを含めた谷川氏の実像を語っていただく一方、谷川俊太郎氏の絵本の企画展を手がけてこられたフリーキュレーターの林綾野さんに谷川絵本の多様性と魅力について語っていただきたいと思っています。



一般の方も参加可!

18:30～20:30

III 懇親会＋朗読会 ウェルカムイベント



谷川俊太郎の 絵本と詩集の朗読

朗読:水野真紀(俳優)

司会・進行:野田英里(フリーアナウンサー)

14:40～16:30

II スペシャルトーク 荒井良二さん(絵本作家)

荒井良二の魅力を解明する
—マーガレット・ワイズ・ブラウンや
長新太から何を学んだか?—

聞き手:松本猛

(大会実行委員長/ちひろ美術館常任顧問、
元絵本学会会長、横浜美術大学客員教授)

荒井良二は、マーガレット・ワイズ・ブラウンや長新太の絵本を見たことが絵本に興味を持つきっかけだったと語っています。現代絵本表現に大きな足跡を残し、絵本の可能性を広げたこれらの作家の仕事を確認し、絵本表現の発展の歴史と現在の到達点について、また荒井良二が絵本でどのような世界を表現しようとしているのかを考えたいと思います。



荒井良二氏(PHOTO:池田晶紀)

16:30～17:00 荒井良二さんサイン会

17:00～18:20 絵本学会総会(学会員のみ)

※総会案内は学会員宛に別途お知らせします



PHOTO:Katsuhiro Ichikawa

会場:象の鼻テラス

(〒231-0002 横浜市中区海岸通1-1)

開港記念会館より

徒歩5分

会費(Peatixにて受付):5,000円



野田英里さん(フリーアナウンサー)



水野真紀さん(俳優)

第2日目 6月22日 日

9:30～ 受付



10:00～12:00 研究発表

[研究発表 A室] 座長：馬見塚昭久・松本由美

1. 植田真澄 (向台保育園)

家庭に絵本を届ける

— 小規模保育園でのおはなし会の実践を通して —

2. 相沢和恵 (山村学園短期大学)

村中李衣 (山口学芸大学)

「絵本や読み物」と乳幼児期にどう出あうか

— 子ども、保護者、学生のアンケートからみえてきたもの —

3. 小松麻美 (神戸芸術工科大学)

尹 恵貞 (一橋大学)

原画展「絵本図書館の10年、韓国絵本の10年」を鑑賞して

— 順천시立絵本図書館開館10周年企画展にみる韓国絵本の現在 —

4. 鈴木穂波 (大阪大谷大学)

絵本『おせち』にみる日本のたべもの絵本についての一考察

[研究発表 B室] 座長：かわこうせい・永井雅子

1. 遅 文俊 (京都精華大学)

1970年代の絵本論争

— 田島征三と赤羽末吉の制作論から —

2. 曾 子安 (京都芸術大学)

安野光雅『旅の絵本』シリーズにみられる画面要素の複合的ギミック

3. 生駒幸子 (龍谷大学短期大学部)

海外向け絵雑誌「SILVER BELLS」(1952.02-1955.05)

における日本の子ども文化の発信

4. 浅野法子 (大阪成蹊短期大学)

華語児童雑誌『世界児童』にみる子ども

13:00～14:20 作品発表

司会・コメンテーター：佐藤博一・宮崎詞美

1. 加賀美裕子 (東京展「絵本の部屋」) 『いとをかし』

2. 魏 辰宸 (京都芸術大学) 『桃たねと梨つる』

3. 川本みつこ 『いちごばたけのなかに』

企画展示「教育現場の絵本表現」

第1日目 6月21日[土] 11:30～17:00

第2日目 6月22日[日] 9:30～17:00

筑波大学、東京成徳大学、横浜美術大学、静岡文化芸術大学、京都芸術大学の在校生・卒業生が制作したオリジナル絵本作品を展示します。

参加申し込み方法 [申込締切：6月15日(日) 22時まで]



下記URL、またはQRコードから
Peatixにアクセスし、お申し込みください。

<https://ehongakkai28taikai.peatix.com>

上記から参加のお申し込みとお支払いが可能です。

14:30～16:30 ラウンドテーブル



絵本の迷路

ラウンドテーブル①

「絵本でつながる

ケアとインクルージョン」

コーディネーター：原島恵 (ちひろ美術館シニアアソシエイト・主任学芸員)

コメンテーター：水島尚喜 (聖心女子大学、絵本学会会長)

ゲスト：村中李衣 (児童文学作家、絵本作家)

大災害やパンデミックなど社会をゆるがすできごとがおこる度に、絵本は切実に求められてきました。世界中で、あらゆる人々が尊厳を守り、その人らしくいることを求める運動がおこるなか、「社会的処方」というケアが必要とされています。人々の分断をつなぎ、排除をしない場をつくり、心身をケアするうえで、絵本はとても優れた文化財といえるでしょう。絵本が本質的に備えている力と、その新たな可能性について探ります。

ラウンドテーブル②

「科学絵本について」

コーディネーター：竹内美紀 (東洋大学)

ゲスト：館野鴻 (絵本作家)、

澤田精一 (元福音館書店編集者、元絵本学会会長)



館野鴻氏

AIに象徴されるようなデジタル時代にあって、子どもの頃から科学の心を育てるために、科学絵本の重要性が益々高まっている。「絵本BOOKEND」編集長として2025年「特集・科学絵本を考える」を主導した絵本研究者の竹内が、科学絵本作家の館野鴻氏と、福音館書店元編集者で絵本研究者の澤田精一氏をゲストに迎え、かこさとし以来の戦後日本の科学絵本を振り返りながら、科学絵本は子どもに何を伝えていくのかについて議論します。

ラウンドテーブル③

「ブルーノ・ムナーリの絵本の獨創性」

コーディネーター：有福一昭 (有明教育芸術短期大学)

ゲスト：岩崎清 (日本ブルーノ・ムナーリ協会代表)



岩崎清氏

ムナーリの絵本には独創的なアイデアと工夫がいくつも密かにしかけられ、よく注意しないと絵本の面白さに気がつきません。ムナーリはアーティストとしての経験から、色や形や線などの造形要素が、時には文字言語よりも、伝達力があることをよく知っていました。だから文字言語に頼らず、空間や時間を、そして感情までも視覚言語を用いて絵本を制作したのです。会場では、ゲストと参加者がその魅力と謎についてセッションします。

16:40～17:00 閉会式

[お問い合わせ先]

第28回 絵本学会横浜大会実行委員会事務局 (穴澤)

メールアドレス：anazawa@kokugakuintochigi.ac.jp

※ご宿泊は参加者各自でお早めに手配されますようお願いいたします。



絵本学会

The Association for Studies of Picture Books